

## 循環型社会に向けてごみを減らそう


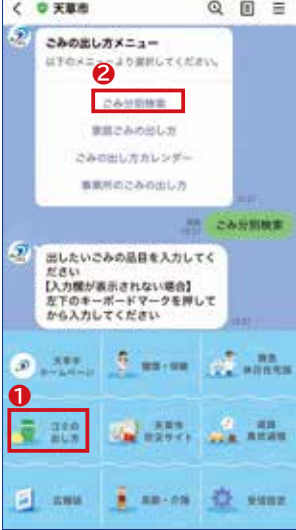
家庭から出るごみを減らすことも未来の天草の環境のためには重要なポイントです。リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）の3R（Reduce・Reuse・Recycle）に取り組むことで、循環型社会の構築につながります。正しく分別することで、ごみは「資源」になります。

分別方法で分からないことがあれば、市公式LINEの「ごみ分別チャット」をご利用ください。出し方や分別方法をチャットボットが教えてくれます。

**ごみ分別チャットの使い方**

- ①メニュー内の「ごみの出し方」を選択
- ②「ごみ分別検索」を選択
- ③調べたい品目を入力

ごみ分別チャットの詳細▶

また、家庭から毎日出る生ごみを減らすことも欠かせません。生ごみは水分を多く含むため、ごみ総量や処理施設の燃焼効率に大きく影響します。市では、生ごみ処理容器の購入補助を行っていますので、ぜひご利用ください。  
 環境施設課 ☎32-7861

### ■生ごみ処理容器の購入費用補助

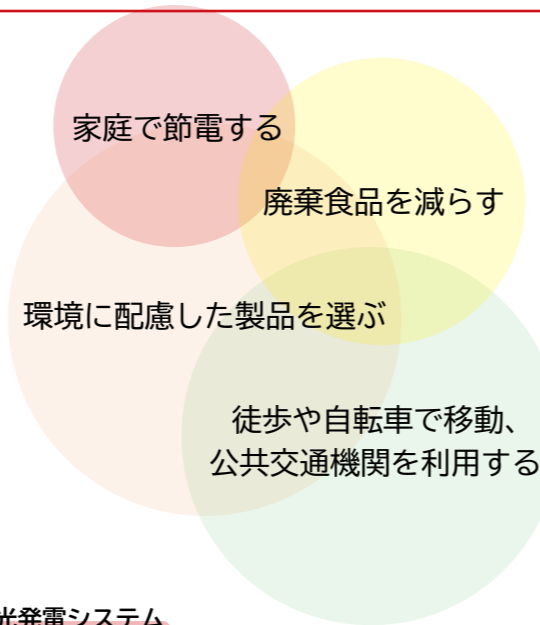
補助率 **4分の3**  
 上限 **7万円**



## 地球温暖化対策として私たちにできること

令和2年7月と同7年8月に発生した豪雨災害は、県内に大きな被害をもたらしました。さらに、昨年10月以降は、30年に一度といわれる記録的少雨の影響で、市民の皆さんに節水へのご協力をお願いしました。これらの災害の頻発化や激甚化をもたらした異常気象の一因として、地球温暖化による影響が考えられています。

地球温暖化対策のために、まずは、私たち一人ひとりができることから取り組んでみましょう。



### ■住宅用太陽光発電システム

・蓄電システムの設置費用を補助

補助額 **5万円**

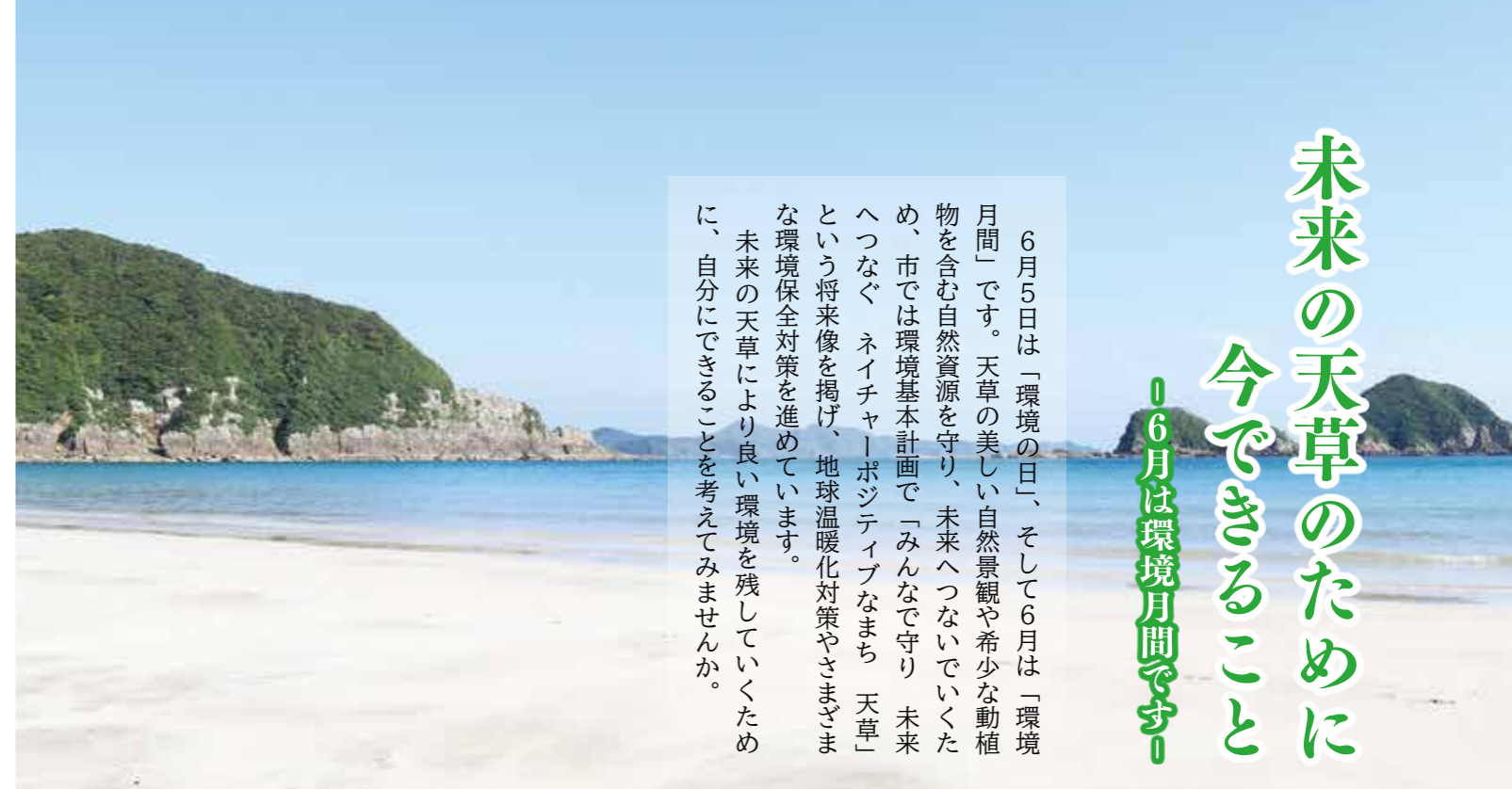
※市内事業者が対象システムの施工をする場合は10万円

※両システムを設置する場合は10万円



地球のため、天草の未来のために、一歩踏み出してみませんか？

市民環境課 ☎33-7800



# 未来の天草のために 今できること

6月は環境月間です！

6月5日は「環境の日」、そして6月は「環境月間」です。天草の美しい自然景観や希少な動植物を含む自然資源を守り、未来へつなぐため、市では環境基本計画で「みんなを守り、未来へつなぐ、ネイチャーポジティブなまち 天草」という将来像を掲げ、地球温暖化対策やさまざまな環境保全対策を進めています。  
 未来の天草により良い環境を残していくために、自分にできることを考えてみませんか。

## 生物多様性の保全を学ぶ

気候変動や開発によって、日本の野生動植物の約3割が絶滅するといわれています。そこで、天草に古くから生息している生物の多様性を守る取り組みとして、特定外来生物の除去や周知啓発活動、「イルカと人との共生」を軸とした取り組みを行っています。その一環として現在、市内の小学4年生がイルカウォッチング体験をしています。

ここでは、海の生態系や海洋プラスチックごみといった環境課題と私たちの生活の結びつきについて学びます。さらに、身近な自然の観察という体験から、地球温暖化が生物の生息域や生態系といった「海全体の健康状態に与える影響」を理解し、「自分ごと」として考える力を育みます。

体験後には、イルカが持つ役割や、私たちが今すぐに行える具体的な行動を話し合うことで、地域の自然資源を守る意欲を高め、自然と共生する暮らしを広げています。



▲イルカウォッチング体験

### 用語解説

#### ■ネイチャーポジティブ

「自然再興」と訳され、自然の損失を食い止め、回復の軌道に乗せることを意味する。単に環境破壊を防ぐだけでなく、積極的に自然を豊かにしていくことで、私たちの暮らしの基盤である「生物多様性」を守り、持続可能な社会を目指す取り組みのこと。

#### ■生物多様性

生き物たちの豊かな「個性」と「つながり」のこと。地球上の生き物は、目に見えない小さな細菌から植物や動物、そして私たち人間まで、全てが互いに影響し合っている。この多様なつながりが保たれることで、私たちは水や食べ物などの自然の恵みを安定して受け取ることができる。